

平成30年度「農業に関する作文・図画コンクール」入賞作品を紹介します

作文4・5・6年の部【最優秀賞】「まだまだある！畑仕事を楽しむ理由」戸狩小5年 小境士道

去年は、畑仕事を楽しむ理由が「人が喜ぶことだから」と書いた。でもまだある。

春になって畑に積もっていた雪がとけ、だんだん畑の土が見えてくると、ぼくはワクワクしてうれしくなる。今年は何を育てようかな？と考えるのが楽しい。

家の畑は、毎年祖父母が耕運機を軽トラに積んで来て耕してくれる。でも耕してもらう前に、ぼくは畑で小さな芽が出ているのを見つけた。ちょうど去年ミニトマトを育てていた場所だ。去年ミニトマトは、種から苗にして畑に植え、たくさん実をつけた。形

しい実になってほしいと思う。ぼくは、食物がだんだん変化していくのを見る事も、畑仕事を楽しむ理由の一つだ。うまく育たない時は心配になるけど、何か発見した時は早くだれかに話したくなる。

やかたさ、味もよく、みんな「おいしい。」と喜んで食べてくれた。だけど収穫する前に落ちて、実がわれちゃった物もあった。「もったいないな。」と思いつつ、そのままにしていた。だからいつの間にか種が土の中に入って、ひとりで芽を出したのかもしれない。もったいない事をしてしまったミニトマトが、うまれかわって出てきてくれたうれしかった。だからその芽をそとポットに移しかえ、毎日水をあげて、お店で売っているくらいになるまで育てた。そしてまた畑にもどし、今は黄色のかわいい花がさいている。去年よりもあまくおい

作文1・2・3年の部【最優秀賞】「きゅうりがいっぱい」泉台小3年 青木倫乃

わたしたちは畑にトマト・ナス・オクラ・きゅうり・ピーマンを畑にうえました。

また四年生と三年生できつまいもをうえました。そのときにうねを作ったり、マルチをひるげたり、わらをしいたりしました。

本きゅうりでつけ物を作りました。わたしともう一人がキムチあえてほかの人は、カレーやしゃぶあさづけのものを使ってつけ物を作りました。五時間目にみんなでつけ物を食べました。みんな先生に分けたり、友だちとこうかんしていました。わたしも友だちとこうかんしたりして食べました。

作文4・5・6年の部【優秀賞】「たな田を守るためにわたしたちができること」東小5年 月岡想一朗

「日本の棚田百選」にも選ばれている福島新田の棚田存続のための解決案を、地域や学校での学習を通じて提案されている作品でした。

作文4・5・6年の部【優良賞】「バケツ稲」飯山小5年 佐藤心椰

学校で手軽にできる「バケツ稲」の育成の過程で、同級生とのやり取りを通じて稲の成長と収穫を心待ちにしている作品でした。

作文1・2・3年の部【優秀賞】「農きょうの事について」戸狩小3年 佐々木陽大

家族とのやり取りから農業の大変さを知り、そこから作物を守り育てることの大切さを伝えている作品でした。

図画 1・2年の部



【最優秀賞】
 「やさしいがいっぱい」
 東小2年 林優里奈



【優秀賞】
 「いねかり」
 秋津小1年 古田昊輝



【優良賞】
 「のざわなにおみずをあげるところ」
 飯山小1年 宮崎笑舞

図画 5・6年の部

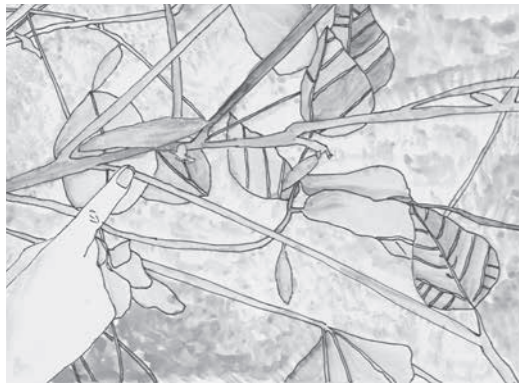


【最優秀賞】
 「トマトがあふれる畑」
 戸狩小5年 星野早月

図画 3・4年の部



【最優秀賞】
 「しゅうかく時期のズッキーニ畑」
 戸狩小4年 佐々木美緒



【優秀賞】
 「えだ豆見つけた!」
 東小3年 木鋪翠葉



【優良賞】
 「たねをふむトラクター」
 東小4年 畔上歩

あしあと 9・10月の活動記録

- 9月10日 農業委員会役員会
- 19日 農業者年金加入推進特別研修会(長野市)
- 27日 9月農業委員会総会・学習会
- // 振興委員会
- 10月10日 農業委員会役員会
- 22日 情報委員会
- 26日 10月農業委員会総会・学習会
- // 農地利用最適化推進委員会議